



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



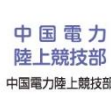
広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT WEST
NTT西日本
ソフトテニス部



中国電力
陸上競技部
中国電力陸上競技部



ココ・コーラ
レッドスパークス
ホッケー部



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒734-0007

広島市南区皆実町2-8-42

猫田記念体育館1F

TEL:082-254-2012

FAX:082-251-5712

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



JTサンダーズ

JTサンダーズ ファイナル3 進出

2月25日(日)、大阪中央体育館にて2017/2018V・プレミアリーグ ファイナル6 最終戦、ジェイテクト STINGS 戦が行われた。JTサンダーズはセットカウント3-0、または、3-1での勝利がファイナル3へ進出の条件となる。

試合は第1セットから大熱戦となった。序盤は2度の連続得点で押されるも、トーマス・エドガー選手や山本将平選手のサービスエースで逆転。その後は両者一歩も譲らぬ展開となり、最後は連続3得点で第1セットを先取した。第2セットは、ブロックなどで点を重ねて先行するが、相手のサーブに苦しめられ4連続で失点し、追いつかれる。ここからリードされる展開が続くが、何とか食らいつき、このセットもデュースへ突入。ここでもトーマス・エドガー選手、山本将平選手の活躍で連続3得点、第1セットに続き、第2セットも連取する。

しかし第3セット序盤は接戦だったが、ミスが続き点差を広げられた。タイムアウトを取るが、悪い流れを断ち切ることができずこのセットを落としてしまう。第4セット、JTサンダーズは意地を見せる。序盤から悪い流れが続きタイムアウトを取る。タイムアウト明けからはトーマス・エドガー選手と山本将平選手を中心に得点を重ねていった。3度目のデュースにもつれ込む大接戦を制し、ファイナル3への切符を掴んだ。

続くファイナル3では、豊田合成トレフェルサにゴールデンセットまでもつれる接戦の末敗れるも、リーグ3位を勝ち取った。

次の大会は、5月に開催される第67回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会だ。3連覇を目指して頑張ってもらいたい。



勝利を喜ぶ選手たち



広島メイプルレッズ

ホーム最終戦、勝利で飾る！

3月10日(土)、広島市中区スポーツセンターで行われた第42回日本ハンドボールリーグ、オムロンとの一戦。

前半の立ち上がり、メイプルはオムロンの激しい攻めに苦戦するが、12番キーパー板野陽選手のスーパーセーブで追撃を許さない。守りからリズムをつくったメイプルは自慢の速攻を活かして4連続得点を決めるなど11対9で前半を終える。

後半に入っても15番の高山智恵選手のシュートをきっかけに得点を広げていく。終始、メイプルの持ち味である「ディフェンスから速攻」を活かしホーム最終戦を勝利で収めた。

メイプルは3月23日(金)から行われるプレーオフに出場を決めており、ファーストステージの勝者とファイナルステージを賭けて24日(土)に激突する。プレーオフに向けて5番の真継麻礼選手は、「チーム一丸となって優勝できるように頑張ります」と力強く話してくれた。プレーオフの戦いに注目だ。



シュートを放つ高山智恵選手

目指せリーグ3連覇！成長の春季キャンプ

2月1日（木）から2月27日（火）の約1ヶ月間、春季キャンプが行われた。2月14日（水）まで日南市の天福球場で行い、16日（金）からは沖縄市のコザしんきんスタジアムで行った。3年連続リーグ優勝を目指し、さらに悲願の日本一になるために、戦力の底上げが期待される。

参加したメンバーは、昨年15勝と大ブレイクした藪田和樹投手、球界ナンバーワンセカンドと呼び声の高い菊池涼介選手、昨年4番に座りカープの打線を支えてきた鈴木誠也選手などの中心選手や、若手では、開幕一軍を目指す、坂倉将吾捕手、来季ブレイクが期待される高橋昂也選手など約40名の選手が春季キャンプに参加した。

注目された選手は、西川龍馬選手と高橋昂也選手だ。西川龍馬選手は、昨年は代打での出場が多く見られたが、今シーズンは、スタメン入りを目指している。フリーバッティングでは、スイングスピードが早く、2桁ホームランを狙えるほど仕上がっており、今シーズンさらなる活躍が期待されている選手だ。

高橋昂也選手は、昨年怪我で出遅れたものの、ファーム日本選手権では、先発を任せられ、6回2失点と好投し、日本一へと貢献した。秋から猛アピールし、1軍キャンプ参加をもぎとった。キャンプでも着実に結果を出しているため、開幕1軍も夢ではない。1軍での活躍を期待されている。

また注目されているドラフト1位、中村奨成選手は2軍キャンプでのスタートとなった。中村奨成選手を見ようと、多くのファンの方達が球場に押し寄せた。1軍で活躍する姿を早く見たい。彼らが広島を盛り上げてくれることを期待している。



Do スポーツホッケー教室開催！

トップス広島および広島市教育委員会が地域スポーツ振興を目的に開催するDoスポーツ事業において、1月19日（金）、22日（月）、24日（水）、31日（水）の4日間、レッドスパークスは広島市内の小学校を訪問し、選手が講師となりホッケー教室を開催した。初日は、白島小学校の5・6年生男女150名を対象に2組に分かれ、約1時間ずつ、スティックの持ち方などホッケーの基本を丁寧に指導した。真剣な表情で選手の説明を聴き入る姿や、笑顔で楽しそうにホッケーに取り組む子どもたちの姿を見ることができた。

22日（月）は仁保小学校、24日（水）は似島小学校を訪問した。この2日間は体育館内でスーパーホッケーを行った。子どもたちは早速ドリブルやパスに挑戦。子どもたちの上達の速さには選手も大いに驚かされた。最終日の31日（水）は、阿戸小学校を訪問。5年生対6年生によるドリブルリレーは白熱した戦いとなり、子どもたち全員が盛り上がった。最後に子どもたちからお礼の言葉が贈られ、選手たちは笑顔が絶えなかった。この4日間、たくさん子どもたちと接し、シーズン開幕を迎えるにあたり選手たちにとっても楽しくもあり刺激的な時間となった。



スティックの持ち方を指導する大田選手



ホッケーの説明をする選手たち

優秀選手賞受賞！

2月12日（月・祝）、高円宮杯2017ホッケー日本リーグ年間表彰式が東京都千代田区イイノホールで開催された。コカ・コーラレッドスパークスホッケー部からは、大田昭子・錦織えみ・加藤彰子の3選手が女子優秀選手賞を受賞した。レッドスパークス主将の大田選手は、「応援してくださるみなさまや関係者の方々への感謝の気持ちを忘れず、プレーでお返し出来るよう今シーズンも頑張りたい。」と強い決意を述べた。今年はさらに多くの選手が選出されることを期待したい。



写真右側 錦織えみ選手
写真中央 大田昭子選手
写真左側 加藤彰子選手



2018 年 J1 リーグ開幕 2 連勝！！

2 月 23 日（金）に明治安田生命 J1 リーグが開幕。続く 24 日（土）にサンフレッチェはホーム、エディオンスタジアムにコンサドーレ札幌を迎え、開幕となった。J リーグ史上初となるタイ人選手対決で注目を集めたこの一戦。前半 28 分、柏好文選手のクロスに、新加入のティーラシン選手がヘディングで合わせ、J リーグ初得点を記録。この 1 点を最後まで守り切り、完封勝利を飾った。開幕戦での勝利は 3 年ぶりとなる。

続く 3 月 4 日（日）埼玉スタジアム 2002 で行われた、第 2 節浦和レッズ戦では、試合開始から両者カウンターでチャンスをうかがっていたが、前半 43 分、浦和レッズに先制点を奪われた。後半に入り、選手交代からフォーメーションチェンジをきっかけに期限付き移籍から復帰した川辺駿選手が起点となり、後半 21 分、途中出場の柴崎晃誠選手が同点ゴール。続く 34 分稲垣祥選手のゴールで、逆転勝利を収めた。

今年からチームに加わった選手たちの活躍により、開幕 2 連勝と非常に幸先の良いスタートとなったサンフレッチェ。クラブとサポーターが ICHIGAN となり、3 年ぶりの王座奪還を期待したい。



ゴールを決めて喜ぶティーラシン選手
開幕戦勝利を喜ぶ選手たち



各大会で好成績を続々と獲得！

NTT 西日本ソフトテニス部は、2 月と 3 月に行われた、4 つの大会すべてで好成績を残した。

まず、2 月 4 日（日）に大阪市で開催された第 63 回インドアソフトテニス選手権大会では、丸中大明選手・長江光一選手ペアが優勝、村上雄人選手・水澤悠太選手ペアが 3 位に輝いた。続いて、2 月 25 日（日）に札幌市で開催された YONEXCUP2017 国際ソフトテニス大会では、村上雄人選手・水澤悠太選手ペアが準優勝を記録。3 月 3 日（土）と 4 日（日）の 2 日間に渡って京都市で開催された全日本実業団選抜インドアソフトテニス大会では、3 日の団体戦で優勝。4 日（日）の個人戦では、船水雄太選手・水澤悠太選手ペアが優勝、丸中大明選手・長江光一選手ペアが準優勝、村上雄人選手と新人の広岡選手のペアが 3 位とトップ 3 を独占した。また、3 月 10 日（土）と 11 日（日）の 2 日間広島市で開催された第 22 回アジアカップひろしま国際ソフトテニス大会で優勝と、各大会で好成績を連発した。

これから本格的に始まるシーズンに向け、これ以上無い程の好スタートを切った。この好成績を糧として、今シーズンも最高のシーズンにしたい。



ヨネックス広島オープン 2018 優勝！

2 月 24 日（土）・25 日（日）に今シーズン最後でもある大会、ヨネックス杯ひろしまオープン 2018 が中区スポーツセンターで行われた。

この大会は小学生から一般までの多くの種目があり、広島ガスからは、一般女子 1 部シングルスに喜岡選手、一般女子 1 部ダブルスに奥井・小田ペアが出場した。喜岡選手、奥井・小田ペアは予選リーグを 1 位で通過し、ともに優勝という結果だった。

また、6 年間チームの柱として戦った奥井選手の引退試合でもあったため、25 日（日）の開始式後には引退セレモニーが行われ、奥井選手から来場した皆様に今までの感謝の気持ちを伝えると会場から多くの拍手と声援が沸いた。

その後、部員の皆から奥井選手に今までの感謝の気持ちが書かれた横断幕と花束を贈呈し引退に花を添えた。奥井選手にとっては忘れることのできない日になったであろう。



横断幕を贈られた奥井選手

次期エースを目指して



走る藤川選手

今回は中国電力陸上競技部において、今後の活躍が期待できる入社3年目の藤川拓也選手を紹介する。広島県立世羅高等学校から青山学院大学の強豪校を経て2015年4月に入社。

翌月の中国実業団選手権大会10000mでは怪我明けにも関わらず2位に入り能力の高さを示したが、その後は目立つ活躍がなく苦しい2年間を過ごした。転機となったのは、2017年11月の10000mで28分24秒の自己2番目の記録を出したこと。この記録は全国の舞台でも戦える記録であり、これをきっかけに勢いに乗った藤川選手はニューイヤーズ駅伝1区4位、急遽参加が決まった都道府県対抗駅伝では、広島3区13位その2週間後に開催された別府大分マラソンでは6位と好成績を出し続けてきた。次は、4月からの始まるトラックレースに照準を合わせる予定。ここまでは勢いで成績を出してきたが、これを本当の力として自分の物にできたときにこれまで以上の活躍が期待できると感じている。

現在も中国電力陸上競技部のエースとして活躍する岡本直己選手に代わるエースとなれるか、これからの藤川選手に期待したい。



プレイオフの結果は…

3月11日(日)をもって日本ハンドボールリーグレギュラーシーズンが終了し、湧永製薬は昨年から1つ順位を落とし、5位という悔しい結果に終わった。4位の大同特殊鋼とのゲーム差は1で、プレイオフ争いは熾烈だったと言える。

リーグ戦が再開した2月10日(土)のトヨタ自動車東日本戦、12日(月)の琉球コラソン戦と2連勝で波にのる。そして臨んだ17日(土)の豊田合成戦。格上の相手だが、日本ハンドボール選手権大会では勝利を収めている。しかし、前半から主導権を握られる厳しい展開。後半巻き返すも20-24で惜しくも敗れた。ここで悪い流れを続かせず、25日(日)のトヨタ紡織九州戦は見事に勝利。そして迎えた3月4日(日)のトヨタ車体戦。この一戦に負けるとプレイオフ進出が厳しくなる。前半はトヨタ車体の攻撃に耐え、2点ビハインドで折り返すも後半に攻め立てられ敗れた。そして迎えた北陸電力との最終戦。勝って終わりたい試合で見事勝利し、最終戦を白星で飾った。

今シーズンはプレイオフに一步届かない5位という成績に終わったが、来シーズンはプレイオフ進出、さらに優勝を期待したい。

各チームの1推し選手を紹介します。

★選手紹介コーナー★



ワクナガレオリック

助安 功成選手

生年月日 1994年8月6日

身長 185cm

血液型 B型

出身地 山口県

↓担当者からのコメント

恵まれた体格を活かしガッツあるプレーが魅力の入社1年目の選手です。3月25日から世界学生(U-24)の選考合宿にも参加しておりこれからの活躍に注目してください。

「トップスポーツ観戦ラリー」参加者募集！

トップス広島は広島市スポーツ協会と連携し、加盟チームの観戦促進に取り組みます。ぜひ、会場に足を運んでいただき観戦ラリーにご参加ください。

対象：小学生以上

対象期間：2018/4/1～2019/3/16

内容：加盟チームのホームゲームを3チーム分観戦した方に抽選で、サインボールなど関連賞品を進呈します。

応募方法：対象期間内の観戦チケット半券または観戦証明書を所定の用紙に3チーム分貼付け、スポーツセンターまたは広島市スポーツ協会事務局に申し込んでください。

応募締切：2019年3月18日(日)

対象ゲームなど詳しくは(公財)広島市スポーツ協会ホームページにて

問合せ先：(公財)広島市スポーツ協会 (TEL082-243-0579)


トップスポーツ観戦ラリー


広島のスポーツを応援するんじゅけえ！

トップス広島 加盟3チームの試合を観戦して
サインボールなどチーム関連賞品をゲットしよう！



サンフレッチェ広島
(サッカー)



J1サンダーズ
(バレーボール)



ワクナガレオリック
(男子ハンドボール)



広島メイプルレッズ
(女子ハンドボール)



広島ガス
バレーボール部



NTT西日本
ソフトテニス部



中国電力
陸上競技部



ユカコーラ
レッドスパークスホッケー部
(野球)



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

編集協力 広島経済大学 興動館
スポーツによる地域活性化プロジェクト